

Week of September 22 - Is Christ Divided? Small Group Lesson 2

知り合う

以下の引用について、あなたの人生、仕事、特にあなたの奉仕にどのように当てはまるか、また、私たちが現在学んでいる聖句にどのように関連するか、考えてみてください。

『野心はすべての異端の母である。』　ジャン・カルヴァン

聖句　第一 コリントの信徒への手紙 1:10−17（聖書協会共同訳）

10 さて、きょうだいたち、私たちの主イエス・キリストの名によってあなたがたにお願いします。どうか、皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。11 私のきょうだいたち、実は、あなたがたのことをクロエの家の者たちから知らされました。あなたがたの間に争いがあり、12 あなたがたはめいめい、「私はパウロに付く」「私はアポロに」「私はケファに」「私はキリストに」などと言い合っているとのことです。13 キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。あなたがたのために十字架につけられたのはパウロでしょうか。あなたがたが洗礼(バプテスマ)を受けたのはパウロの名によるのでしょうか。14 クリスポとガイオのほか、あなたがたの誰にも洗礼(バプテスマ)を授けなかったことを、私は神に感謝しています。15 ですから、私の名によって洗礼(バプテスマ)を受けたなどと、誰も言えないはずです。16 もっとも、ステファナの家の人たちにも洗礼(バプテスマ)を授けましたが、そのほかは誰にも授けた覚えはありません。17キリストが私を遣わされたのは、洗礼(バプテスマ)を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架が空しくならないように、言葉の知恵を用いずに告げ知らせるためだからです。

学び

1. 先週の聖書箇所（1:1-9）と今週の聖書箇所に関する武先生の説教に基づいて、(a) この手紙の著者について、(b) この手紙が宛てられた人々について、私たちは何を知っているでしょうか？

2. 今週の聖書箇所（1:10-17）について、あなた自身の言葉で問題点を説明してください。あなたが最も興味深い、または難しいと感じた点は何ですか？

3. 私たちの知る限りでは、ケファ、パウロ、アポロの間には対立はなく、それぞれの教えにも問題はありませんでした。では、11節と12節で言及されている「争い」をどう理解すればよいでしょうか？また、10節で言及されている「仲たがい」とは何を意味しているのでしょうか？

4. 今まで、教会に通っているときに、それぞれのメンバーが異なる指導者を支持することで、争いや仲たがいが生じたことはありますか？その結果はどうなりましたか？また、どのように解決しましたか？

5. キリストが最初にパウロを派遣してコリントで福音を伝えさせたにもかかわらず、なぜそこにいる一部の人々は自分たちをペテロやアポロに付く者と見なすようになったのでしょうか？

6. また、ある人たちは「私はキリストに付く」と言いました（12節）。これは良いことだったのでしょうか？これが、「私はパウロに付く」と言った人々よりも自分を高めるための発言であったとしても、良いことだったのでしょうか？

7. パウロがコリントの信者の中のごく少数にしかバプテスマを授けなかったことを、神に感謝したのはなぜでしょうか？（13-17節）

8. なぜパウロはコリントで「言葉の知恵」を用いずに福音を伝えたのでしょうか？(17節)

分かち合い

1. 私たちは、どのようにしてキリストを人生で最優先することを目指せばよいのでしょうか? あなたは自分の私生活で、そのことをどのように実践してきましたか?
2. 聖書の中で、キリストを最優先(卓越)とする箇所はどこですか? 今日の聖句はどのようにそのことを示していますか? そのことは、どのように教会の一致につながるのでしょうか?
3. このように主を敬うことによって、何がもたらされるのでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合うことで、互いに仕り合いましょう。

レッスンPDF: t-b-c.us/sg3924jp

学びの聖句: t-b-c.us/sg3924j